

# 石巻市立大川中学校

2014年 12月 28日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

## 【文献】

(1) 「石巻・大川中、閉校へ 震災被害の大川小から新入生激減」朝日新聞 (2013年3月6日) より

## 【場所】

追波湾から約5.4km、北上川から約40mの位置にある。

住所:宮城県石巻市針岡字山下61

※ 別の中学校で間借りして再開していたが、生徒数減少のため統合して閉校となった。



## 【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階が浸水。 ※ 現在、校舎は取り壊されている。

## 【震災当日の様子】

地震が起こった時、当日は卒業式だったため生徒は全て下校していた。自宅等で3名の生徒が被災している。(1)

## 【調査して言えること】

標高は約0mで、海からは5.4km離れているが、一級河川である北上川のすぐ隣に学校があり、地震の際に津波を警戒する必要がある学校である。学校の裏に小さな山があるが、標高は最大で約20m程度で、津波で避難した場合に周囲から孤立する可能性が高く、2次3次の避難が難しい場所であるため、津波の避難場所としては適していない。また、西に1kmほど離れた場所に山に上られる道があり、その道をさらに約500mほど道なりに進むと標高30m以上の安全な場所に登ることができる。学校から1km以上離れた場所なので、学校からここに避難するためには、地震後の迅速な避難が必要である。

学校の近くに山はあるが、津波避難には適していないため、大きな地震の際には学校から離れた場所に避難する必要があり、大きな地震の際には迅速な避難が必要な学校である。



西から見た学校のあった場所(2014/3/18撮影)

※ 山の手前に校舎があった。



学校(南から見た北上川の堤防(2014/3/18撮影)